

＜第 5 次総合計画・前期基本計画／都市計画マスタープラン／立地適正化計画＞

地区別懇談会（ワークショップ）

実施報告書

令和 7 年 2 月

館 山 市

目次

1	ワークショップの概要	1
	(1) ワークショップの目的	1
	(2) ワークショップのテーマ	1
	(3) ワークショップのスケジュールと参加人数.....	1
	(4) タイムスケジュール	2
2	実施結果.....	3
	1 日目 館山・北条地区	3
	1 日目 那古地区	6
	1 日目 船形地区	8
	2 日目 西岬地区	11
	2 日目 神戸・富崎地区	13
	2 日目 豊房地区	17
	2 日目 館野・九重地区	21

Ⅰ ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

令和8年度からを計画期間とする『第5次館山市総合計画』の策定にあたり、市民を対象としてお住いの地区の将来について話し合い、その結果を『第5次館山市総合計画』、『館山市都市計画マスタープラン』や『立地適正化計画』での活用を通じて、市民と行政の共通理解に基づいた“まちづくり”を推進する。

(2) ワークショップのテーマ

- ① 自分の住んでいる地域や館山市の好きな場所、モノ、コト
- ② 住んでいる地域での困りごとや課題
- ③ あったらいいなと思う、地域が良くなる機能

(3) ワークショップのスケジュールと参加人数

■対象者：16歳以上の市民

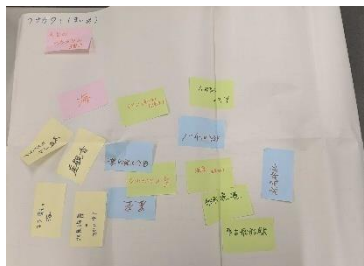
■日時、地区割、会場、参加人数：

No.	実施日など	実施場所	参加人数
①	令和6年10月26日(土) ① 午後1時30分～4時30分 館山地区、北条地区、那古地区、船形地区	千葉県南総文化ホール 大会議室	9人
②	令和6年11月4日(月・休日) ① 午前9時～12時 西岬地区、神戸地区、富崎地区 ② 午後1時30分～4時30分 豊房地区、館野地区、九重地区		15人

■チラシ



(4) タイムスケジュール

項目	内 容
1 オープニング	ワークショップの目的や全体の流れなどを説明しました。 
2 アイスブレイク	自分が呼ばれたい名前や愛称と、その理由を説明しながら自己紹介を行いました。
3 グループワーク	① はじめに、自分の住んでいる地域や館山市の中で、好きな場所、モノ、コトを各々に挙げてもらいました。 ② 住んでいる地域での困りごとや課題を各々に挙げてもらいました。 ③ ②で挙げた困りごとや課題を踏まえ、あったらいいなと思う、また、地域が良くなる機能について考えてもらいました。  
4 共有・クロージング	最後に、話し合った内容をグループごとに発表し、全体で共有しました。  

2 実施結果

1 日目 館山・北条地区

① 自分の住んでいる地域や館山市内の好きな場所、モノ、コト

田畑のあるキレイな環境	地域の歴史
フラワーラインの菜の花	適度な近所づきあい
海、夕日（人が集まるリラックスできる環境）	祭礼（雰囲気、知り合いに会える機会）
海と夕陽	お祭り
海越しの富士山（遮るものが無い）	やわたんまちが楽しい
若潮マラソン	外食が減るほど、スーパーの魚が美味しい
沖ノ島	スーパー（イオンタウン館山）が近い
安房神社	中村パン屋のレーズンパン
小塚大師	道の駅（食、名産品、景色）
地域の歴史が残されている神社	高速バス（便利で東京が近い）
神社や山車の彫刻	

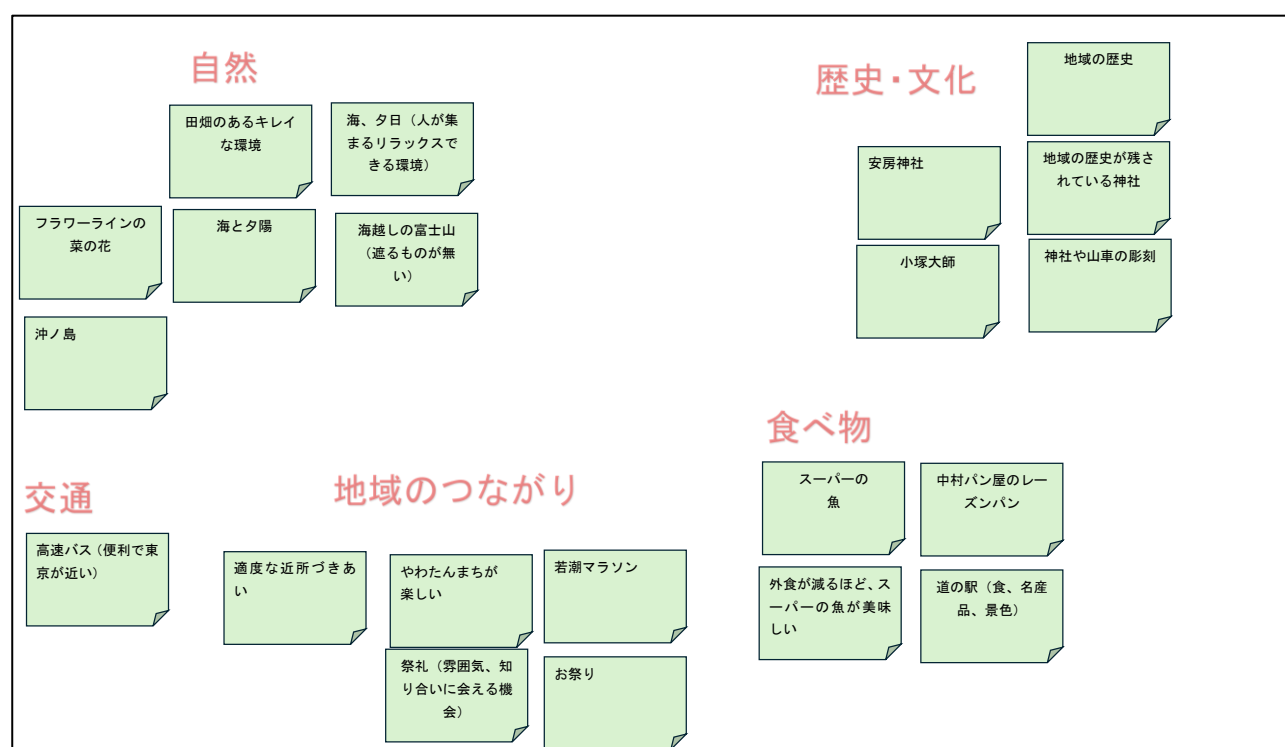
② 住んでいる地域での困りごとや課題

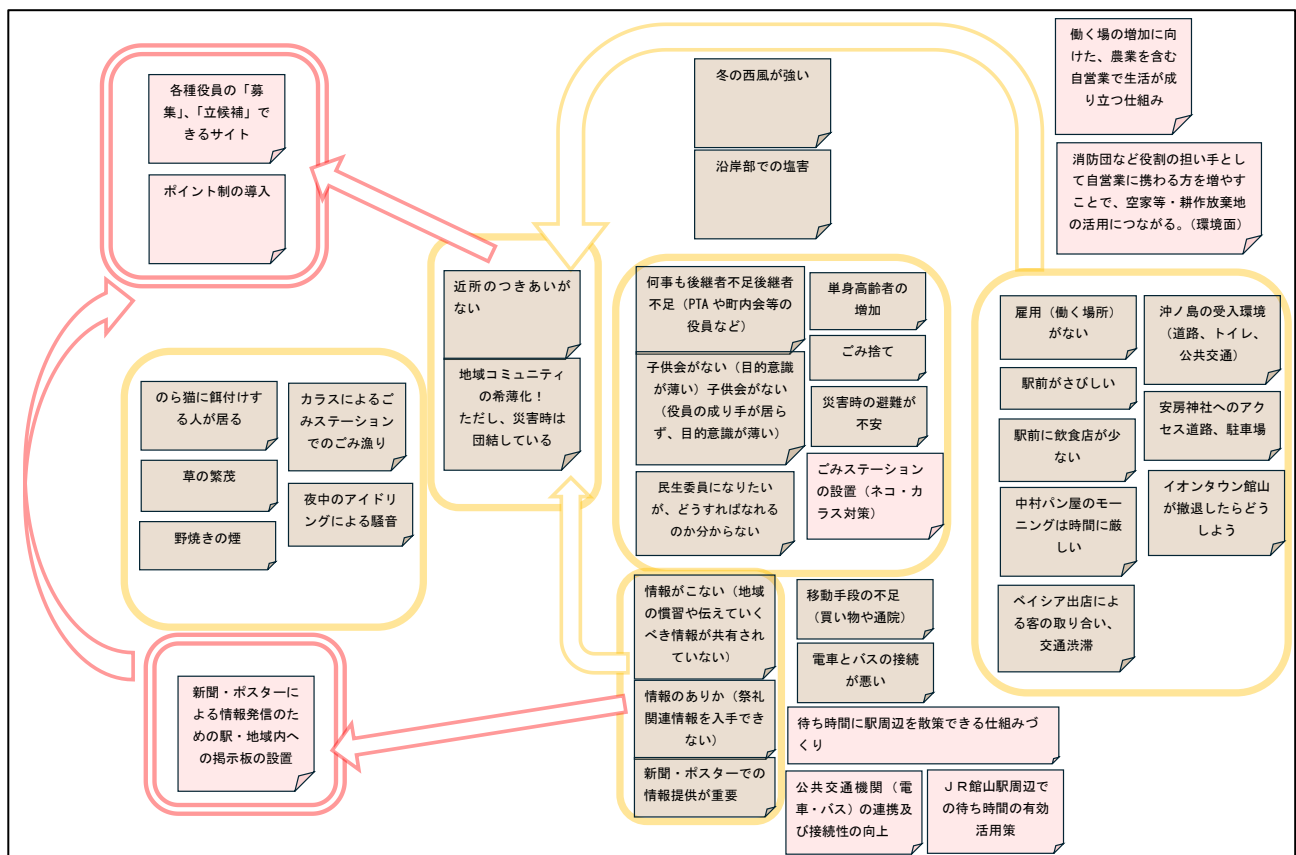
近所のつきあいが無い	災害時の避難が不安
地域コミュニティの希薄化！ ただし、災害時は団結している	のら猫に餌付けする人が居る
情報がこない（地域の慣習や伝えていくべき情報が共有されていない）	カラスによるごみステーションでのごみ漁り
情報のありか（祭礼関連情報を入手できない）	夜中のアイドリングによる騒音
新聞・ポスターでの情報提供が重要	草の繁茂
後継者不足（PTA や町内会等の役員など）	野焼きの煙
子供会がない（役員の成り手が居らず、目的意識が薄い）	冬の西風が強い
民生委員になりたいが、どうすればなれるのか分からない	沿岸部での塩害
単身高齢者の増加	雇用（働く場所）がない
移動手段の不足（買い物や通院）	ベイシア出店による客の取り合い、交通渋滞
ごみ捨て	イオンタウン館山が撤退したらどうしよう
電車とバスの接続が悪い	中村パン屋のモーニングは時間に厳しい
待ち時間に駅周辺を散策できる仕組みづくり	沖ノ島の受入環境（道路、トイレ、公共交通）
駅前がさびしい	安房神社へのアクセス道路、駐車場
駅前に飲食店が少ない	

③ あったらしいなと思う、地域が良くなる機能

新聞・ポスターによる情報発信のための駅・地域内への掲示板の設置	働く場の増加に向けた、農業を含む自営業で生活が成り立つ仕組み
各種役員の「募集」、「立候補」できるサイト	消防団など役割の担い手として自営業に携わる方を増やすことで、空家等・耕作放棄地の活用につながる。（環境面）
ポイント制の導入	公共交通機関（電車・バス）の連携及び接続性の向上
ごみステーションの設置（ネコ・カラス対策）	J R 館山駅周辺での待ち時間の有効活用策

【関連図】





■ 館山・北条地区の困りごとや課題

- ・地域内での人口減少・高齢化の進展により、近所づきあいや地域コミュニティの希薄化が進んでいる。
- ・様々な役職や役割の担い手が不足し、周囲の知人や友人に依頼せざるを得ない場合がある。
- ・価値観の多様化も重なったことで、老人会や子供会に加入する市民が年々減少し、組織の継続が困難となっている。
- ・一方で、民生委員などの地区内の役職や役割を担いたいと思いつつも、どのように手を挙げれば良いか分からないといったケースも見られる。
- ・若い世代が働ける場が少ないために子や孫が地域に残ることができない。
- ・転入者に対して地区の祭礼やイベント情報、地区の慣習など、伝えるべき情報が届いていない。
- ・免許返納者の増加等により、移動手段の確保が課題となっている。
- ・電車やバスの接続が不十分であり、発生した待ち時間を有効活用するための飲食店などの施設や街を散歩するための仕組みが無い。
- ・他の地区に比べて商業施設の出店が比較的多い地区であるが、開発に伴う生活環境の変化や交通渋滞の発生、競合する店舗の共倒れを心配する声があがった。

■ 地域が良くなる機能やアイデア

- ・地区内の様々な役職・役割について、募集及び立候補が可能な掲示板サイトの整備
- ・地区の祭礼やイベント情報などを得られる掲示板や掲示板サイトの整備
- ・第一次産業を含む自営業に従事する方を増やす取組を推進することにより、地区内で自立し、役職・役割の担い手に成り得る住民の増加や地域コミュニティの活性化が期待できる。
- ・市民や来訪者の円滑な移動を実現するため、公共交通機関 (電車・バス) の連携及び接続性の向上を図る。

I 日目 那古地区

① 自分の住んでいる地域や館山市内の好きな場所、モノ、コト

城山の桜	長狭米
白間津の花畑	いちご
館山駅の花壇	梨・すもも
花の都	果物や野菜
バイパスの花（館富トンネル付近）	ごんじゅう
海と空と花のコントラスト（カラフルなところ）	房州うちわ
市役所の花壇	唐山織
鏡ヶ浦	かんべレタス畑の中を散歩（夕方）
夕景の富士山	気候（夏涼しい、冬暖かい）
岡本栈橋	東京へのアクセス◎
九十九谷	お囃子
雲海	お祭り
和田の早咲き梅（抱湖園）	那古寺
洗濯岩	野菜が玄関に置いてある。犯罪が少ない（カギをしない）
千枚田	フラメンコ
房洋堂の「花菜っ娘」	花火大会
水中花火	若潮マラソン

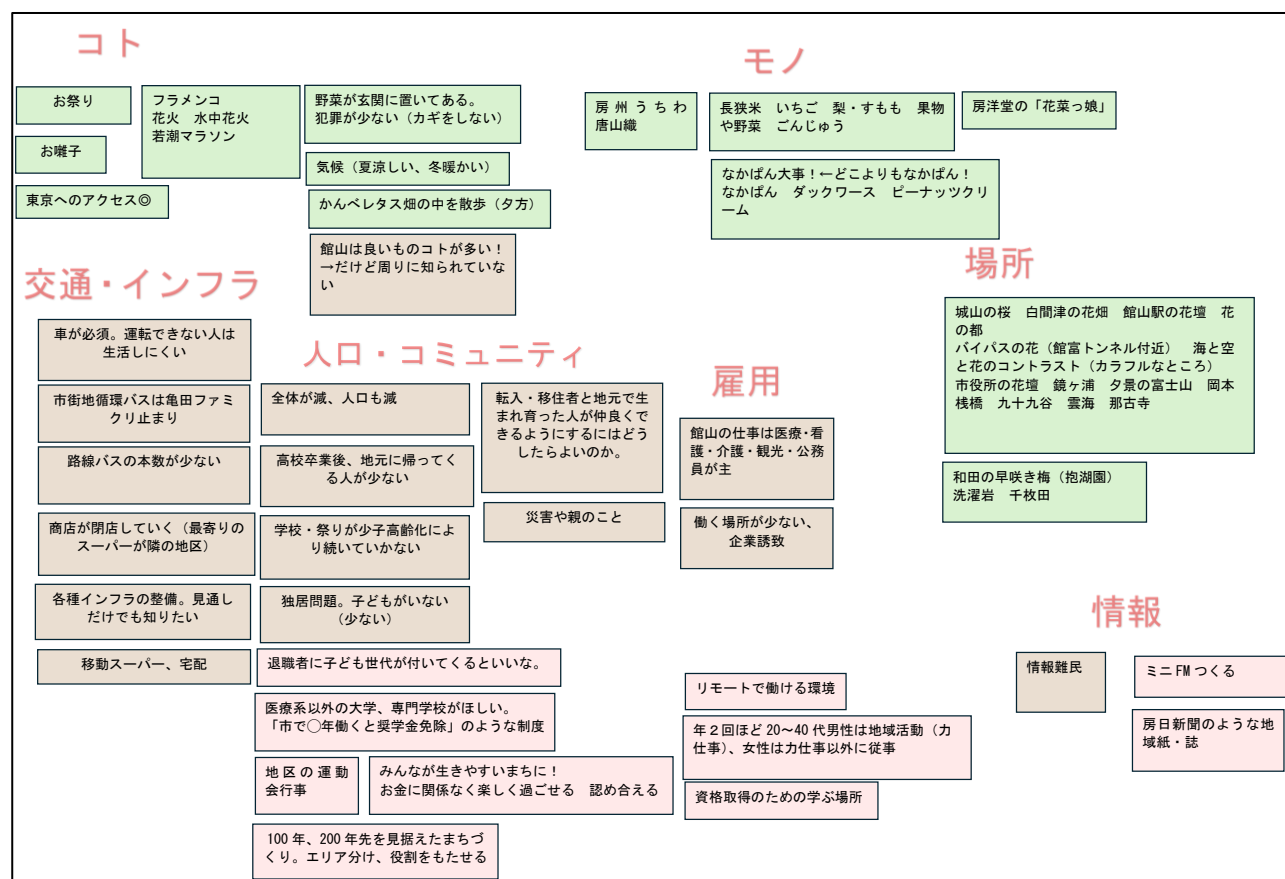
② 住んでいる地域での困りごとや課題

車が必須。運転できない人が生活しにくい	災害や親のこと
市街地循環バスは亀田ファミクリ止まり	独居問題。子どもがいない（少ない）
路線バスの本数が少ない	学校・祭りが少子高齢化により続いていかない
各種インフラの整備。見通しだけでも知りたい	館山は良いものコトが多い！→だけど周りに知られていない
高校卒業後、地元に戻ってくる人が少ない	情報難民
働く場所が少ない、企業誘致	全体が減、人口も減
館山の仕事は医療・看護・介護・観光・公務員が主	転入・移住者と地元で生まれ育った人が仲良くできるようにするにはどうしたらよいのか。
商店が閉店していく（最寄りのスーパーが隣の地区）	

③ あったらしいなと思う、地域が良くなる機能

リモートで働ける環境	ミニ FM つくる
資格取得のために学ぶ場所	房日新聞のような地域紙・誌
医療系以外の大学、専門学校がほしい。	地区の運動会行事
「市で○年働くと奨学金免除」のような制度	100 年、200 年先を見据えたまちづくり。エリア分け、役割をもたせる
年 2 回ほど 20～40 代男性は地域活動（力仕事）、女性力は仕事以外に従事	

【関連図】



那古地区では、独居世帯・高齢者の増加や子どもの減少により、地域のつながりの希薄化や、お祭り等の文化・風習の維持が困難、高校卒業後に地元に戻ってくる若者が少ないといった課題があがりました。また、就業機会の不足や、地元の商店が閉店したことにより、日用品の買い出しは隣の地区に行かなければならなくなり、バスの本数も少ないため車が運転できないと生活しにくくなっているといった課題がありました。

地域が良くなるアイデアとして、若者が残りたくなる・帰ってきたくるような環境整備（リモートワーク環境や企業・専門学校等の誘致、大学等卒業後に一定期間館山市で就職することで奨学金返済が免除される制度）や、那古地区と市街地を繋ぐ循環バスの運行、インフラの強靱化、地区住民が参加出来る地区対抗運動会や地域行事の活性化によるコミュニティのつながりづくり等があげられました。また、ローカル情報を放送するラジオ局の設立を希望する意見もありました。

I 日目 船形地区

① 自分の住んでいる地域や館山市内の好きな場所・モノ・コト

崖観音 崖観音から見る市内の景色	船形漁港 早朝の船形漁港の雰囲気
心地よい海風 夕方、海沿いを歩くこと	趣のある那古船形駅 ぼろぼろの感じが風情を感じさせる
道路からチラッと見える海 船形の海、海遊び、海を見たくなる 田んぼ越しの海の風景も維持したい	トンネルを抜けた後のバイパス沿のヤシ並木 館山に来たな、館山に帰って来たなと感じる風景
祭り	人の温かさ+人のつながり
北条海岸の街灯 夕映え通り	電灯が少なく星空がきれいに見えること 天体観測がしやすい 館山に帰ってきたときの星空
安房神社	心地よい風 信号が少なくドライブがしやすい！ 原付でのドライブ
田んぼ越しの海	お店（買い物の利便性）
市内に点在する花・桜	

②住んでいる地域での困りごとや課題

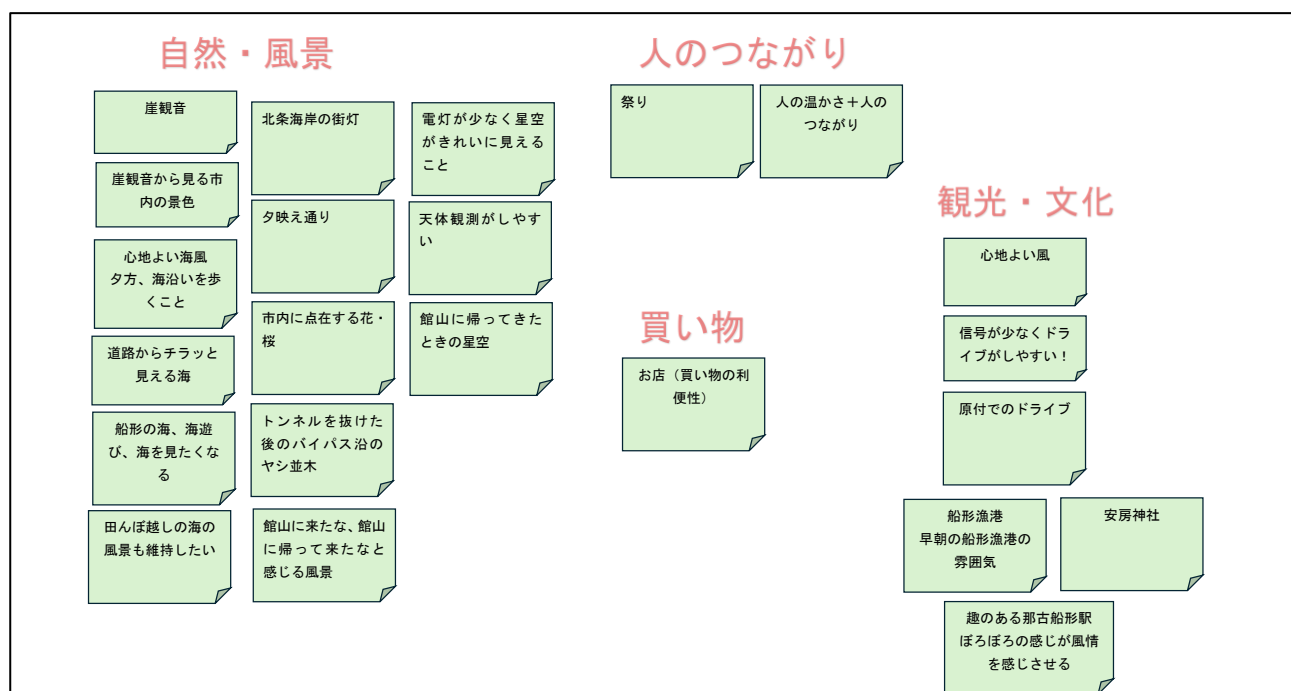
船形バイパスがなかなかできない ⇒バイパスが完成して、飲食店も増えてほしい ⇒船形漁港につながるの、アクセスは良好になる ⇒波及して、地域の活性化につながってほしい	少子高齢化 こどもがいなくて寂しい 祭りの高齢化、伝統文化継承の危うさ 漁業に関する担い手が減っていること
雑草の処理（統合）	飲食店の少なさ
当たり前にあった船形小がなくなること、コミュニティ活動や地域の行事がなくなること、人のつながりの拠点がなくなることの不安 賑わいが一つ減ることの不安	空き家増える 空き家の使われ方として、貸別荘にしているが、マナーが悪い。別のカたちでの空き家問題 相続に関する問題（空き家化）
鹿、イノシシ、サルがときどき出る	近くのスーパーが1つしかない
公園がきれいだと嬉しい （たこ公園の遊具の老朽化） ⇒遊具でなくモニュメントで良いから残してほしい。	道路が狭いため、自転車で走ることが怖い時がある 歩行する際も道が狭くて危ない（特に高齢者） 道路がデコボコしている ⇒歩道や道路の整備をしてほしい
漂流ゴミの多さ 掃除をする人手が足りない	ごはんを食べるところが少ない 夜に営業している飲食店が多いと嬉しい

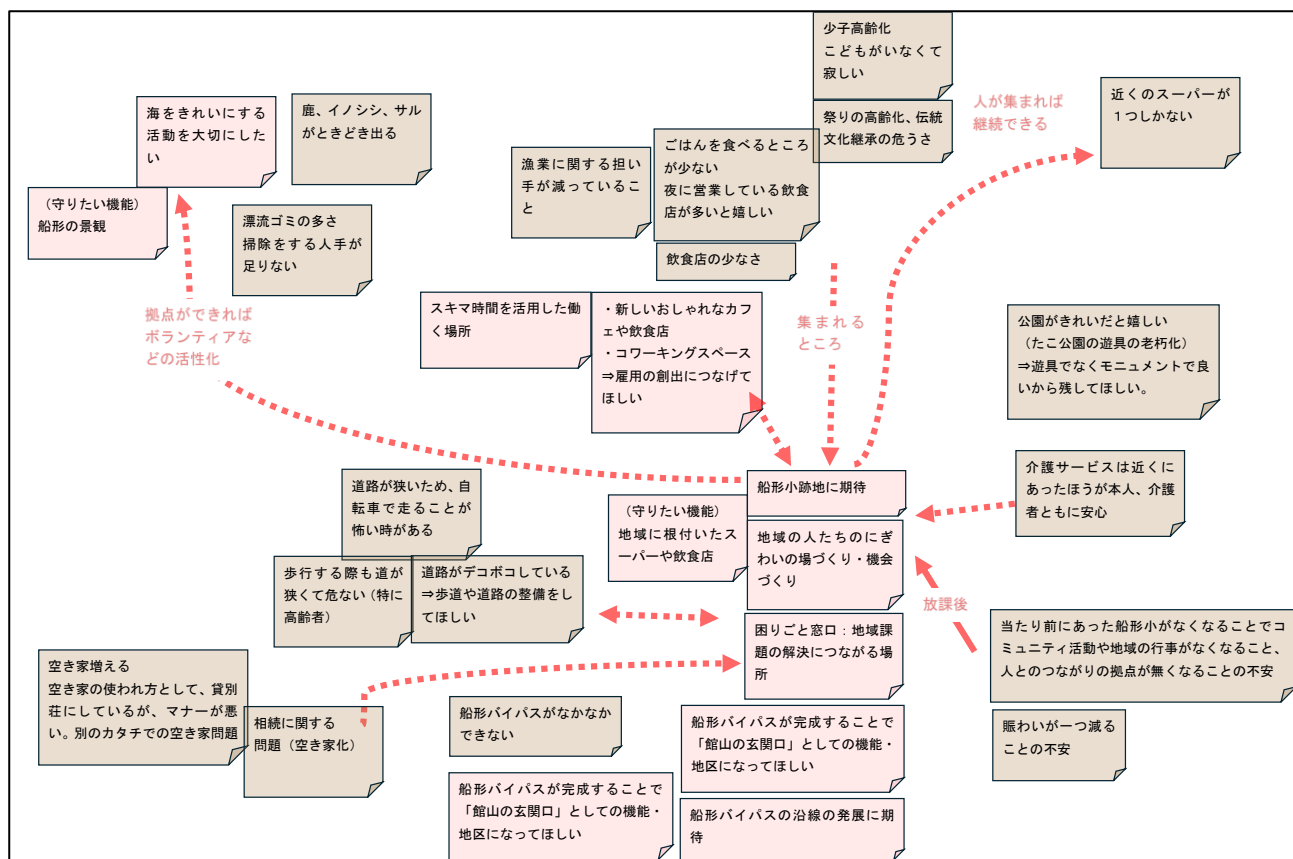
介護サービスは近くにあったほうが本人、介護者ともに安心	
-----------------------------	--

③ あったらしいなと思う、地域が良くなる機能

船形バイパスが完成することで「館山の玄関口」としての機能・地区になってほしい 船形バイパスの沿線の発展に期待 ・新しいおしゃれなカフェや飲食店 ・コワーキングスペース ⇒雇用の創出につなげてほしい	船形小跡地に期待 ・地域の人たちのにぎわいの場づくり・機会づくり ・困りごと窓口：地域課題の解決につながる場所
(守りたい機能) 船形の景観 地域に根付いたスーパーや飲食店	海をきれいにする活動を大切にしたい スキマ時間を活用した働く場所

【関連図】





船形地区では、船形バイパスが整備中ですが、市の玄関口としての機能やバイパス沿線の発展を期待したいという意見が多くありました。

沿線には、統合予定の船形小学校や船形漁港、公園をはじめとする地域の活性化につながる要素が点在しており、船形バイパスが整備されることで、その点と点がつながることになります。また、沿線への飲食店等の進出による雇用創出も期待したいといった意見もありました。

地域の課題として、路面の老朽化、空き家や漂流ごみの問題、これまで学校が担ってきた地域コミュニティを形成してきた行事等がなくなる、といった課題があがりました。

地域が良くなるアイデアとしては、地域の人が集まることのできるにぎわいの場づくり・機会づくりに向けて、地域の困りごとの窓口設置、船形小学校跡地の活用等があげられました。

また、困りごとの相談窓口や賑わいの創出につながるような機能が学校跡地に欲しい等といった意見もあがりました。

この地域のつながりの拠点となっていた船形小学校の統合による閉校が予定されており、地域のにぎわいの場がどうなるかが課題となっています。また、空き家の増加や道路・歩道の整備、船形バイパスの早期実現、海のごみについての課題等があがりました。

地域が良くなるアイデアとして、雇用につなげるためにも、完成するバイパス沿いの飲食店等の誘致や船形小学校跡地の活用、地域の人が集まることのできるにぎわいの場づくり・機会づくりや、空き家等の困りごとの相談窓口があがりました。

2日目 西岬地区

① 自分の住んでいる地域や館山市内の好きな場所、モノ、コト

観光のまちづくり	空気がきれい・おいしいところ
西岬地区の良好な景観	白い洲埼灯台ときれいな青い海
ダイヤモンド富士	平砂浦の富士山と夕日
自転車の走る道路 フラワーライン 道路沿いの花 道路から見える海岸線	海を活用したアクティビティ 遊覧船 ダイビング 釣り ヨット
夕日と海 ダイヤモンド富士	神社

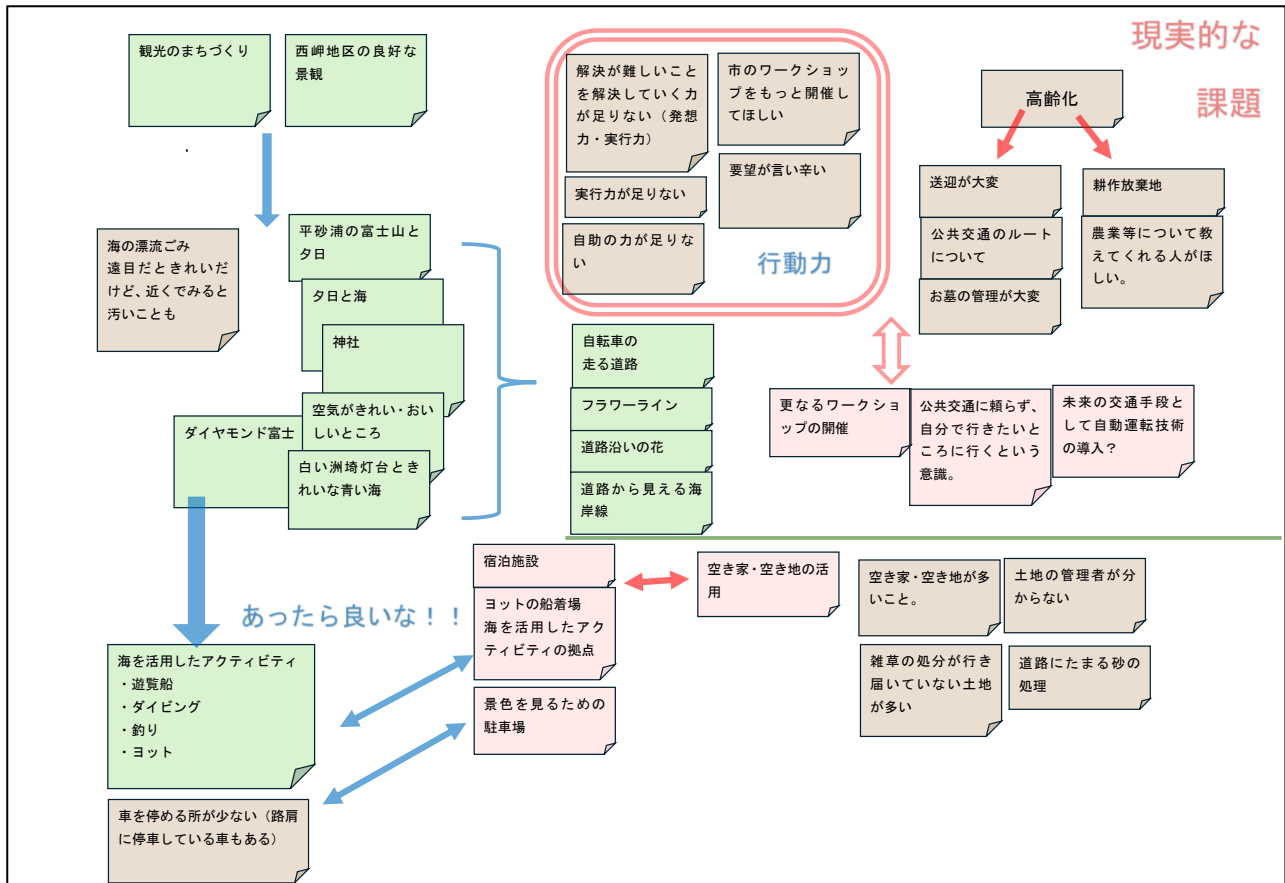
②住んでいる地域での困りごとや課題

高齢化 送迎が大変・公共交通のルートについて 病院・買い物のための交通手段が今後、心配 お墓の管理が大変	実行力が足りない 自助の力が足りない 解決が難しいことを解決していく力が足りない (発想力・実行力)
公園がないこと 景色を見るための駐車場がほしい 車を停める所が少ない (路肩に停車している車もある)	要望を地域に言いづらいこと 市のワークショップをもっと開催してほしい
耕作放棄地 農業等について教えてくれる人がほしい	海の漂流ごみ 遠目だときれいだけど、近くでみると汚いことも
空き家・空き地が多いこと 雑草の処分が行き届いていない土地が多い 土地の管理者が分からない	道路にたまる砂の処理

③ あったらしいなと思う、地域が良くなる機能

未来の交通手段として自動運転技術の導入？ 公共交通に頼らず、自分で行きたいところに行く という意識。	宿泊施設 ヨットの船着場 海を活用したアクティビティの拠点
更なるワークショップの開催	景色を見るための駐車場
空き家・空き地の活用	

【関連図】



西岬地区では、高齡化による移動手段のニーズや耕作放棄地の増加に関する課題、海やフラワーライン、海から見る夕日や富士山といった観光資源がある一方、駐車場の確保やごみ、雑草等の景観の問題が課題としてあげられています。また、課題を解決していくための発想力や実行力をつけるべきといった意見がありました。

地域が良くなるアイデアとして、地域の現状に即した移動手段の確保や自動運転技術の導入、既存の観光資源を生かしたアクティビティの開発や、駐車場の整備に関する意見がありました。

また、今後も引き続き、地域課題の解決につながるワークショップの開催をしてほしいといった意見がありました。

2日目 神戸・富崎地区

① 自分の住んでいる地域や館山市内の好きな場所・モノ・コト

よく遊んだ砂山	いつもでも見ていたい夕日
城山公園からの景色	夕日
ゆったりとした雰囲気富崎漁港	海と花と青い空
心が落ち着く安房神社	空の広さ
多くの船が見られる洲崎灯台	空気、呼吸が気持ち良い都会と違う空気
犬の散歩で歩いた平砂浦海岸	都会では見られない星空
海がきれいと思える布良の海岸線	街がとても静かな所
素晴らしい景観の平砂浦海岸と松林	好きなことができる温暖な気候
ドラマのロケ地にもなったキレイな布良海岸	気候が温暖であること
田畑が広がる佐野地区の風景	あたたかく、過ごしやすい気候
壮大な神戸のレタス畑	冬が暖かいこと
国道127号のヤシ並木	暖かく、冬でもあまり寒くないこと
沖ノ島	野菜づくりのために畑をすぐに借りられる環境
沖ノ島などのとてもキレイな海	釣りが楽しめる環境
いつも異なる表情を見せる海	寛容な地域の人々
海と花	食べ物（魚・野菜）が美味しい
夕日の見える海	神戸レタス
富士山と海越しの夕日	地魚が最高に美味しい
日本一と思う鏡ヶ浦の夕日	ご飯がとても美味しいこと

② 住んでいる地域での困りごとや課題

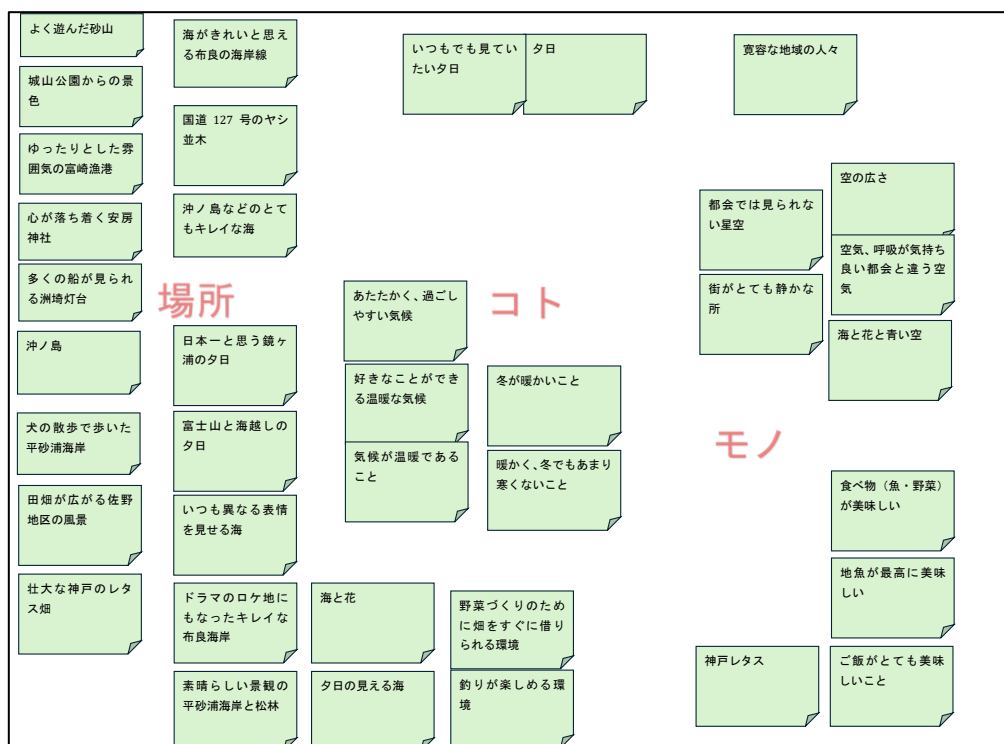
住民の高齢化	車を持っていないと移動が不便
次世代が都会に出てしまう	車がないと困る
人が減って不便になると転居が進む悪循環	車がないと不便
高齢化による空き家や耕作放棄地の増加	市街地まで遠い
空き家・空き地の管理	近くに医療機関がない
どんどん増える耕作放棄地	車があって生活が成り立つ
未利用地の雑草	バス本数が少なく、最終便が早いなど不便
適切に管理されていない別荘	自宅からバス停までの距離が遠い
野焼きにつながる道路脇や耕作放棄地の雑草	待ち時間の発生など、公共交通が不便
国道の管理（草・センターライン）	通行の支障となる住民と釣り客の路上駐車
通行の妨げとなる切割の伸びた木	抜け道として地区内を通過する車両の増加
繁茂する国道脇の草	バイクの騒音
雑草など歩道が適切に管理されていない	公園の遊具が少ない
毎日何処かで行われる野焼きの煙	地震発生時の津波被害

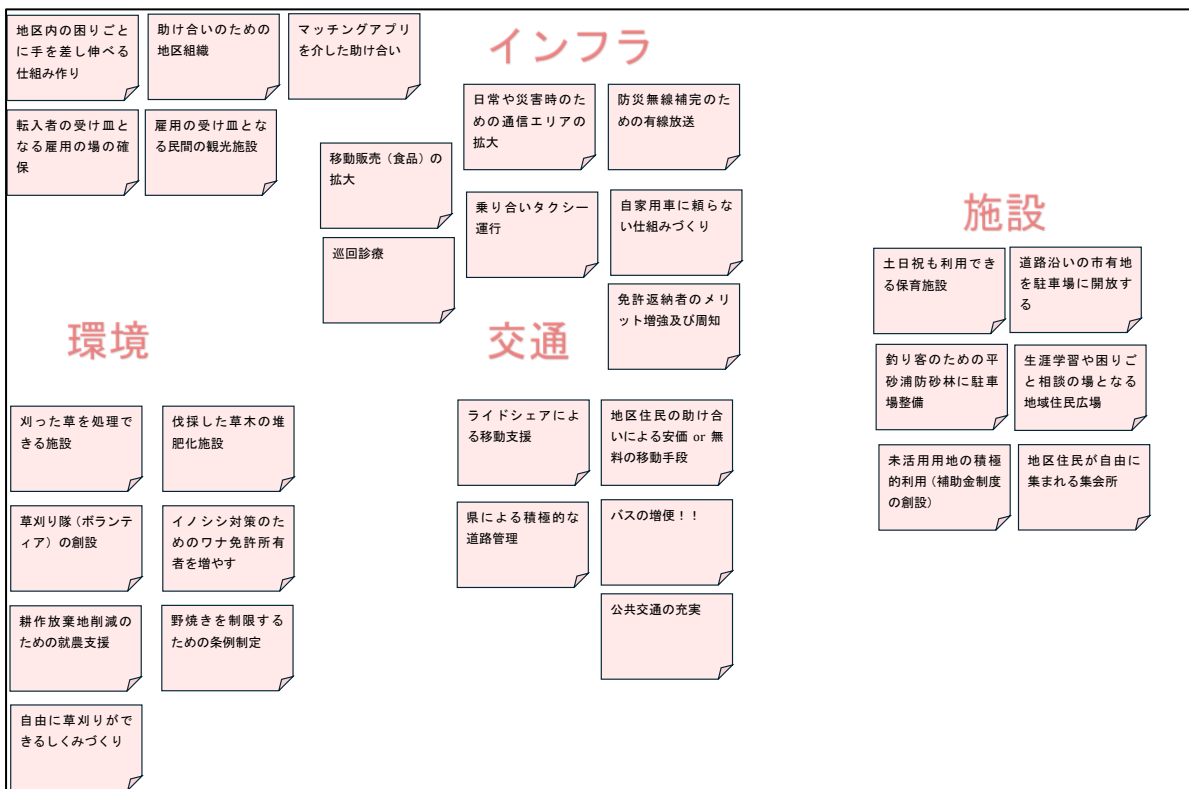
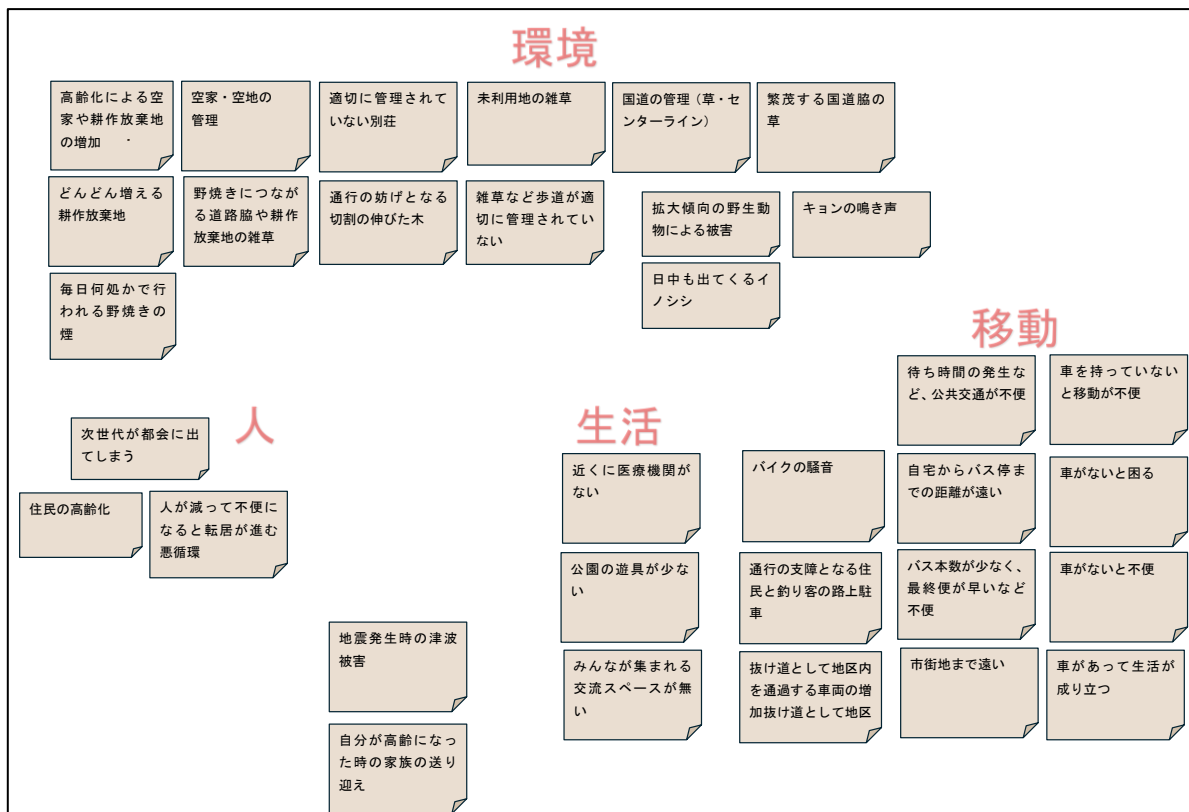
拡大傾向の野生動物による被害	自分が高齢になった時の家族の送り迎え
日中も出てくるイノシシ	みんなが集まれる交流スペースが無い
キョンの鳴き声	

③ あったらしいなと思う、地域が良くなる機能について

移動販売（食品）の拡大	乗り合いタクシー運行
巡回診療	自家用車に頼らない仕組みづくり
地区住民が自由に集まれる集会所	公共交通の充実
地区内の困りごとに手を差し伸べる仕組み作り	バスの増便！！
生涯学習や困りごと相談の場となる地域住民広場	免許返納者のメリット増強及び周知
助け合いのための地区組織	ライドシェアによる移動支援
草刈り隊（ボランティア）の創設	地区住民の助け合いによる安価 or 無料の移動手段
マッチングアプリを介した助け合い	日常や災害時のための通信エリアの拡大
自由に草刈りができるしくみづくり	防災無線補完のための有線放送
伐採した草木の堆肥化施設	土日祝も利用できる保育施設
刈った草を処理できる施設	道路沿いの市有地を駐車場に開放する
野焼きを制限するための条例制定	釣り客のための平砂浦防砂林に駐車場整備
耕作放棄地削減のための就農支援	未活用用地の積極的利用（補助金制度の創設）
転入者の受け皿となる雇用の場の確保	県による積極的な道路管理
雇用の受け皿となる民間の観光施設	イノシシ対策のためのワナ免許所有者を増やす

【関連図】





■ 神戸・富崎地区の困りごとや課題

- ・若い世代の転出により高齢化が進んだことで、空き家や耕作放棄地の増加、それに伴う野生動物の増加や草木の繁茂、伐採した後に頻繁に行われる野焼きについても課題として挙げられた。
- ・市街地から離れている地域であるため、周辺に医療機関等の生活機能が乏しいため、自家用車での移動が必須であり、自身が高齢になった際の移動手段の確保に不安があること、路線バスなどの公共交通はあるものの、本数が少なく待ち時間が発生すること、さらに、自宅からバス停までの距離が遠く、公共交通は不便であることが課題として挙げられた。
- ・釣り客の路上駐車による混雑の発生に見られる駐車場不足や、地区住民が安心して集まることができる交流スペースが無いことなどが課題として挙げられた。

■ 地域が良くなる機能等やアイデア

- ・地区住民が気軽に困りごとを相談でき、自由に集まることができる場の整備や、地区住民の困りごとを助け合いによって解決するための仕組みづくり
- ・相談の場やマッチングアプリなどの活用により、草刈りボランティアなど地区内で住民同士が助け合う環境を整える。
- ・平砂浦の後背地を、釣り客や観光客向けの駐車場として整備することによる路上駐車削減及び除草による景観の向上
- ・伐採した草木を野焼きせずに堆肥化
- ・自家用車に頼ることなく自由に移動できるよう、路線バスの増便など公共交通の充実を図るほか、乗り合いタクシーやライドシェアの導入による“乗りたい時に乗れる”移動手段の確保
- ・観光立市を目指す中、雇用の場の確保や観光業に従事する方の子育て支援として、土日祝も受け入れ可能な保育施設を整備することで地域内に若い世代が増えていく。
- ・防災行政無線や通信インフラの充実を図ることで、災害時も適切に情報を得られる環境が整う。
- ・お金が無くても出来る事はある。あとは「行動力」

2日目 豊房地区

① 自分の住んでいる地域や館山市内の好きな場所、モノ、コト

《自然》	《地域》
田植え（学校行事）、田んぼや畑	活気がある
里山（岡田、南条、古茂口、畑、加藤、大高尾、…）	祭りの多様さ、お祭りが多く各地にある（豊房、やわたんまち、館山のまつり…）
自然がきれい（森、海、山、空、etc…）	
自然の豊かさ（サシバ、トウキョウサンショウウオ、イシガメ、ハチクマ、ミゾゴイ、フクロウ、マテバシイ、イノシシ…）	お祭り好きな人達
	地域のネットワーク
	コンパクトなまち
海も山も平野もある	人のつながり、地域のつながり
暖かい海	⇒1人ではできないことをみんなで協力できる環境。地域性。
川などの静かな場所	
釣りをする所がある	《場所》
温暖な地で住みやすい	歴史のある城山。館山城がある。
館山駅、駅西口の景観	活動の場。イオン（交流できる場所）
国道のヤシの木、ヤシ並木	⇒集うことができる場所がある。
⇒温暖で自然豊か、海も山も田畑もある。駅や国道では南国を感じることができる。	《食べ物》
	おいしい食べ物（魚、野菜）
	少量多品種な産業（野菜、果物、魚、肉…）
	ジビエ（イノシシ、キョン、ハクビシン、アライグマ…）
	グリーンファームのおみやげが充実している

② 住んでいる地域での困りごとや課題

《人口》	《道路》
子どもたちが帰ってこない	道がせまいが大きい車が通る
若い人が少ない（青年、消防団）	通学路が狭く危険な所がある
いろいろな仕事が無い	整備されていない道もある
農家のお嫁さん問題	歩きにくい
祭りをやる人が少なくなっている。祭りの維持が困難。	道路改修（側溝）が整備されていない。猪に荒らされたまま
地域のつながりの希薄化	⇒歩くことが困難な道路状況。
過疎化。だんだん人が少なくなってしまう。	《交通》
移住できる家が少ない	交通の不便さ。車がないと移動しにくい。
⇒跡継ぎがいない。仕事・行事・地区の作業が続けられなくなっている。	車社会（コスト、子どもの足、飲めない）
	歳をとってから車がないと困る
《環境・自然》	買い物にでるのに足がない（高齢者）

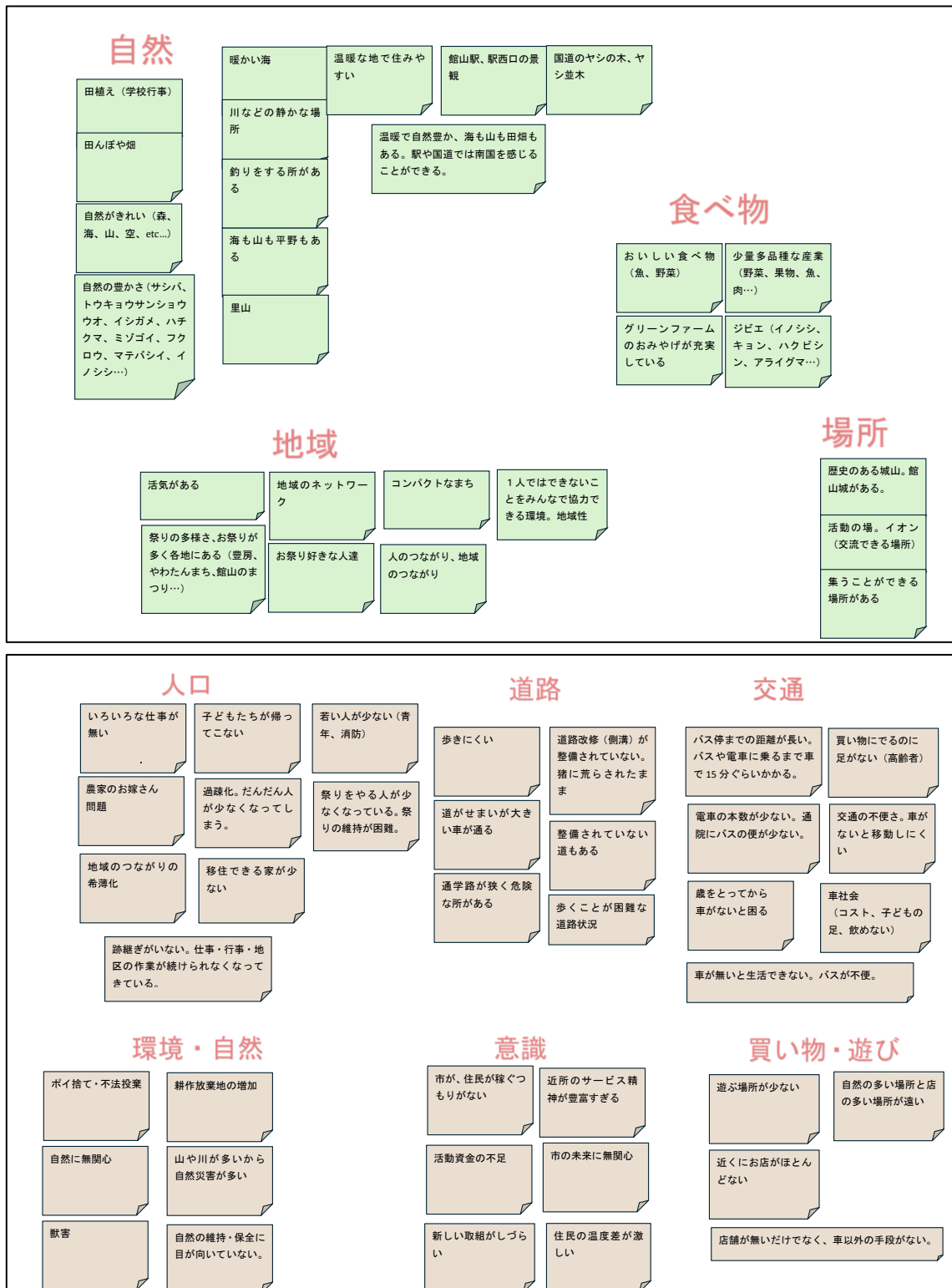
山や川が多いから自然災害が多い	電車の本数が少ない。通院にバスの便が少ない。
自然に無関心	バス停までの距離が長い。バスや電車に乗るまで車で 15 分ぐらいかかる。
獣害	⇒車が無いと生活できない。バスが不便。
耕作放棄地の増加	《意識》
ポイ捨て・不法投棄	市の未来に無関心
⇒自然の維持・保全に目が向いていない。	市が、住民が稼ぐつもりがない
《買い物・遊び》	新しい取組がしづらい
近くにお店がほとんどない	活動資金の不足
自然の多い場所と店の多い場所が遠い	近所のサービス精神が豊富すぎる
遊ぶ場所が少ない	⇒住民の温度差が激しい。
⇒店舗が無いだけでなく、車以外の手段がない。	

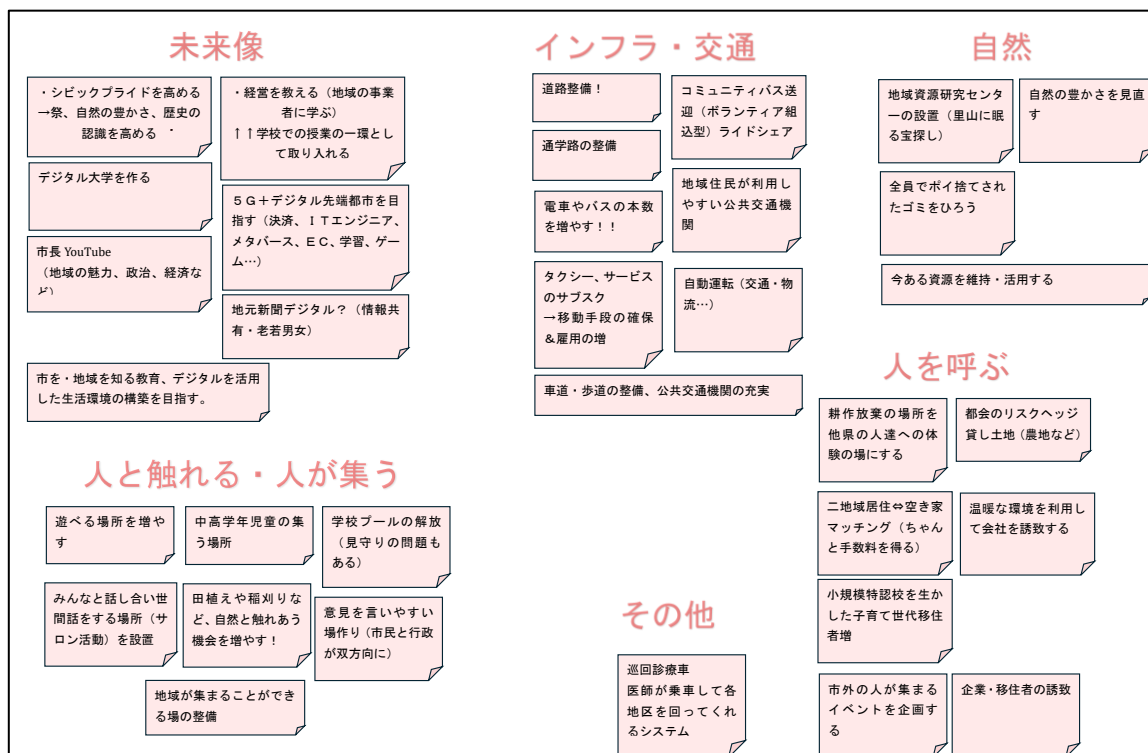
③ あったらいいなと思う、地域が良くなる機能

《未来像》	《インフラ・交通》
・シビックプライドを高める →祭、自然の豊かさ、歴史の認識を高める ・経営を教える（地域の事業者に学ぶ） ↑↑学校での授業の一環として取り入れる	道路整備！
	通学路の整備
	地域住民が利用しやすい公共交通機関
	電車やバスの本数を増やす！
デジタル大学を作る	コミュニティバス送迎（ボランティア組込型）ライドシェア
5G+デジタル先端都市を目指す（決済、ITエンジニア、メタバース、EC、学習、ゲーム…）	タクシー、サービスのサブスク
地元新聞デジタル？（情報共有・老若男女）	→移動手段の確保&雇用の増
市長 YouTube で発信（地域の魅力、政治、経済など）	自動運転（交通・物流…）
⇒市を・地域を知る教育、デジタルを活用した生活環境の構築を目指す。	⇒車道・歩道の整備、公共交通機関の充実
《人と触れる・人が集う》	《自然》
遊べる場所を増やす	自然の豊かさを見直す。
	地域資源研究センターの設置（里山に眠る宝探し）
中高学年児童の集う場所	全員でポイ捨てされたゴミをひろう
学校プールの解放（見守りの問題もある）	⇒今ある資源を維持・活用する。
意見を言いやすい場作り（市民と行政が双方向に）	《人を呼ぶ》
みんなと話し合い世間話をする場所（サロン活動）を設置	耕作放棄地を他県の人達への体験の場にする
	温暖な環境を利用して会社を誘致する
	都会のリスクヘッジ。貸し土地（農地など）

田植えや稲刈りなど、自然と触れあう機会を増やす！	二地域居住⇔空き家マッチング（ちゃんと手数料を得る）
⇒地域で集まることができる場の整備	小規模特認校を生かした子育て世代移住者増
《その他》	市外の人が集まるイベントを企画する
巡回診療車。医師が乗車して各地区を回ってくれるシステム	⇒企業・移住者の誘致

【関連図】





豊房地区では、若者の流出・減少による過疎化の進行や、祭り等の行事参加者や跡継ぎなど、地域の担い手の減少に伴う地域コミュニティの希薄化が課題にあがりました。また、歩道が狭く、交通機関が不便であり、買い物や通院等がしづらいといった意見がありました。

地域が良くなるアイデアとして、人が集い、触れ合える場や機会を増やすといった意見があがりました。また、移動手段の充実や巡回診療者車等の導入、デジタルと地域資源を活用したまちづくりについて意見がありました。

2日目 館野・九重地区

① 自分の住んでいる地域や館山市内の好きな場所、モノ、コト

安房神社	自然がいっぱい
那古観音	市内に山あり海あり
崖の観音	海・山が近い
船形の灯台	海と夕日
館山バイパス	海
富士山	おだやかな静かな海
道の向こうの富士山	田越しの海
市民グラウンド	おいしい海と山の食べ物
若潮マラソン	魚
花火大会	スーパーの魚がうまい
お祭り	庭でカキ、梅などがとれる
イベントが多い	田・畑
マルシェが多い	初夏～秋の田んぼ
道の駅が多い	星空
館野小前のひまわり畑	畦道
人がゆるい	蛙の合唱
子供を遊ばせるのに困らない	道のまんなかを歩ける・走れる

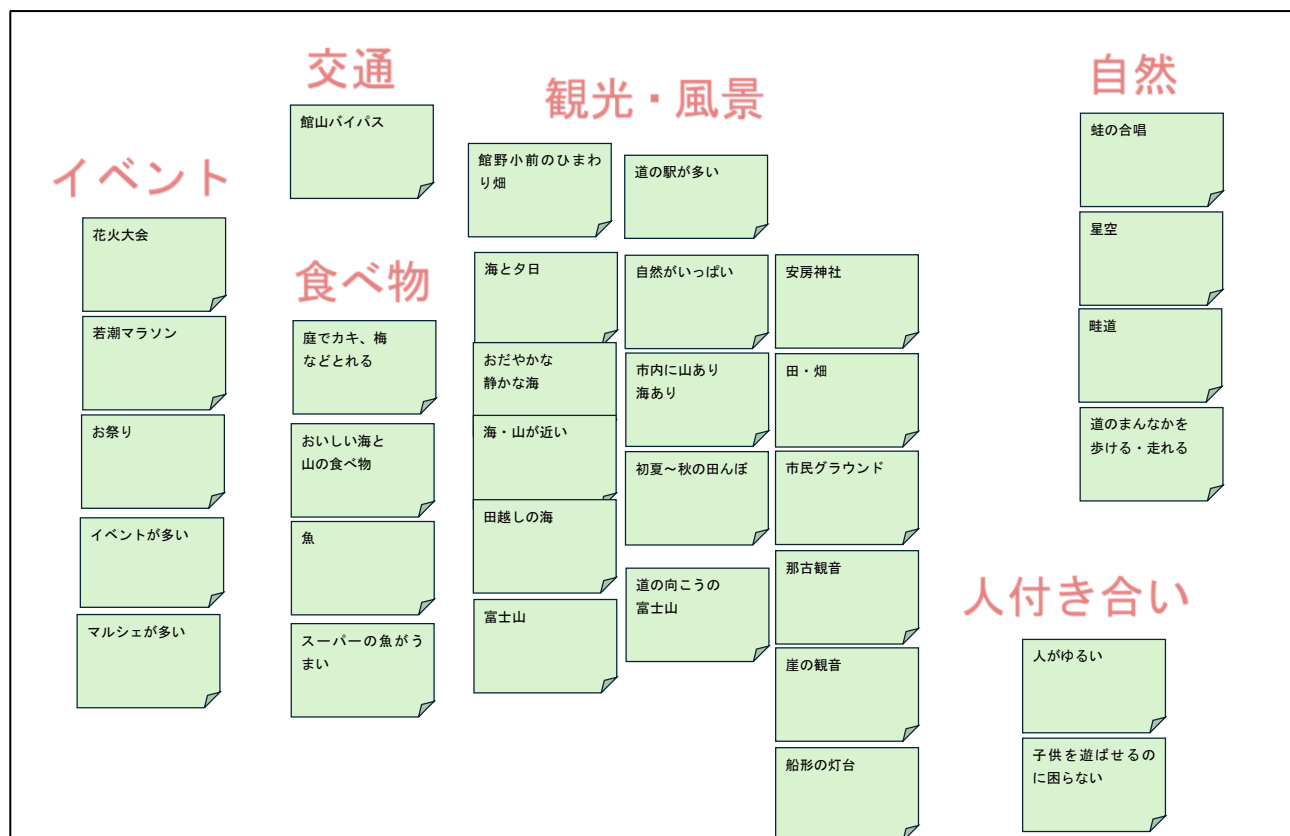
② 住んでいる地域での困りごとや課題

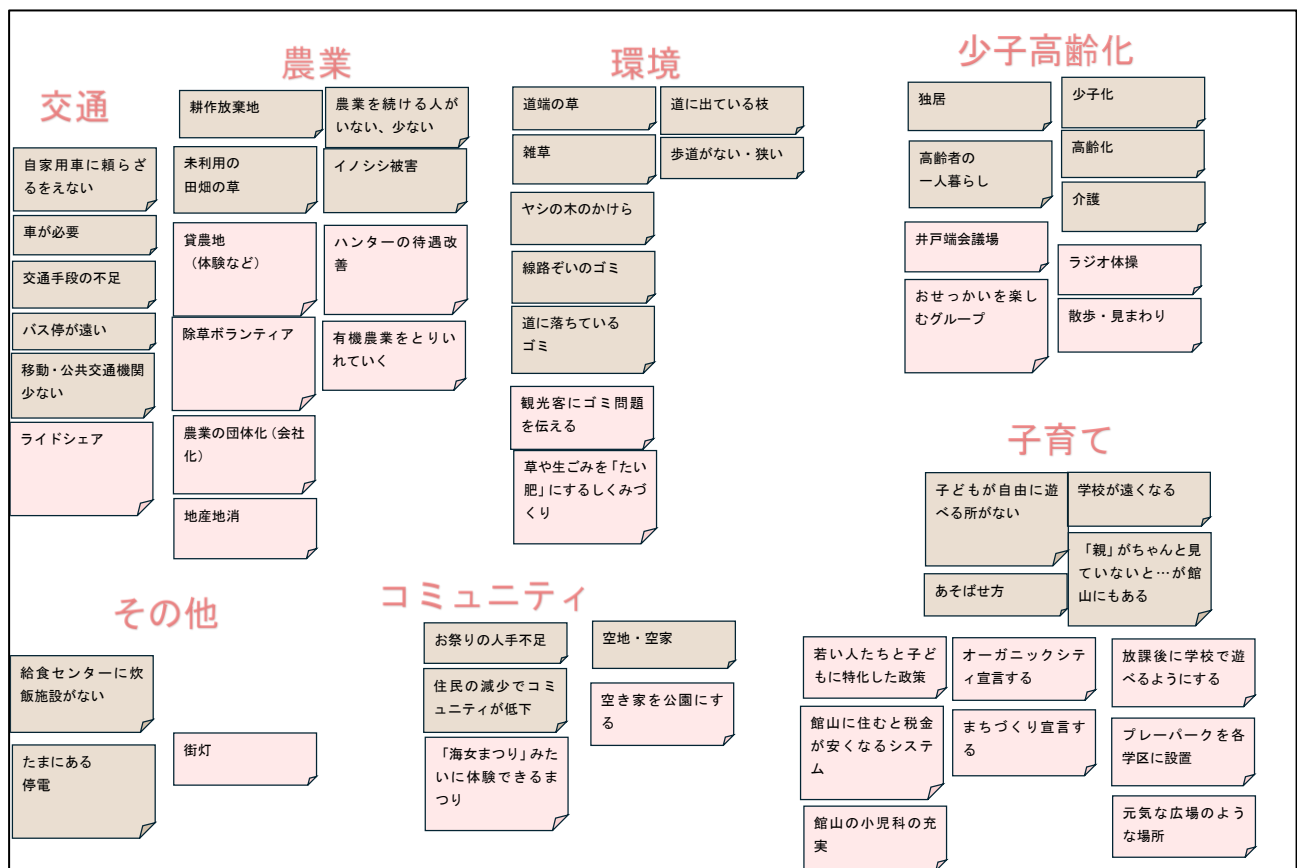
自家用車に頼らざるをえない	少子化
車が必要	高齢化
交通手段の不足	独居
バス停が遠い	高齢者の一人暮らし
移動・公共交通機関少ない	介護
給食センターに炊飯施設がない	空地・空家
たまにある停電	住民の減少でコミュニティが低下
道に落ちているゴミ	お祭りの人手不足
線路ぞいのゴミ	農業を続ける人がいない、少ない
ヤシの木のかけら	耕作放棄地
道端の草	未利用の田畑の草
雑草	イノシシ被害
道に出ている枝	子どもが自由に遊べる所がない
歩道がない・狭い	あそばせ方
学校が遠くなる	「親」がちゃんと見ていないと…が館山にもある

③ あったらしいなと思う、地域が良くなる機能

おせっかいを楽しむグループ	草や生ごみを「たい肥」にするしくみづくり
井戸端会議場	観光客にゴミ問題を伝える
除草ボランティア	若い人たちと子どもに特化した政策
貸農地（体験など）	館山に住むと税金が安くなるシステム
ライドシェア	館山の小児科の充実
ラジオ体操	放課後に学校で遊べるようにする
散歩・見まわり	プレーパークを各学区に設置
地産地消	元気な広場のような場所
農業の団体化（会社化）	空き家を公園にする
有機農業をとりいれていく	街灯
オーガニックシティ宣言する	まちづくり宣言する
「海女まつり」みたいに体験できるまつり	ハンターの待遇改善

【相関図】





館野・九重地区では、少子高齢化や独居高齢者の問題や、空き地や空き家の増加、バス停までの距離が遠く自家用車に乗れないと不便である、線路沿いのごみのポイ捨てが減らないといった、意見がありました。また、農業の担い手不足による耕作放棄地の増加やイノシシによる農作物への被害といった農村地区ならではの課題が挙がりました。

地域が良くなるアイデアとして、除草作業を行うボランティアグループの形成や、井戸端会議ができるような場の設置、ライドシェア等の移動支援、耕作放棄地を活用した農業体験や貸農地の実施、ハンターの待遇改善などが挙がりました。

また、子育て世代の移住・定住を促進するために教育環境の充実や空き家の利活用など、若者や子どもに着目した政策に取り組んで欲しいとの意見が挙がりました。

